

1. アレクサンドロスの東方遠征により成立。東方の文化との融合もみられる「ギリシア」風文化。 1
2. ヘレニズム時代に生まれた禁欲主義哲学。語源：ストアはギリシア語の「柱廊」。ここで講義されたから。英語の stoic 「禁欲的な」の語源 2
3. **PERSON** B.C. 4・3世紀、ギリシアのストア派哲学の創始者。 3
4. **WORD** B.C. 4・3世紀、ギリシアの哲学者ゼノンの説いたストア派の生活信条。ここでいう自然とは、自然を支配する理法（ロゴス）のこと。 4
5. 欲望を抑制することによって真の幸福が得られるとする考え方。 5
6. ストア派のいう理想の境地。語義：否定の接頭語アとパトス「情念」 6
7. ギリシア語アパテイアの意味。 7
8. 全ての人間は、国家や民族を越えて普遍的な理性（ロゴス）を分け持つ等しい同胞であるという考え方。 8
9. ヘレニズム時代に生まれた（精神的な）快樂主義哲学。語源：英語のエピキュリアン「享樂主義者」の語源（誤解や曲解から）。 9
10. **PERSON** B.C. 4・3世紀、ギリシアのエピクロス派哲学の創始者。 10
11. **WORD** B.C. 4・3世紀、ギリシアの哲学者エピクロスの説いた生活信条。心を煩わせる政治や公共生活を避けて、田園で静かに暮らすことなど。「忘れられて生きよ」とも。 11
12. 生きる目的を快樂とし、快樂を善とする考え方。 12
13. エピクロス派のいう理想の境地。語義：否定の接頭語アとタラクシア「煩わしき」 13
14. ギリシア語アタラクシアの意味。 14
15. 世界の根本的原理や実在を物質とみなす立場。関連語：唯心論。エピクロスの場合、次のような考え方にみられる。「死とはアトム（原子）の分解にすぎない」し、魂は不滅ではない。死んだら存在しなくなるのだから、死は恐れる必要なし。 15

T. Q. 「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

T. A.

ヘレニズム哲学は宇宙観と幸福論を大切にした。ストア派とエピクロス派に分かれ、前者は「情念の克服（アパテイア）」を真の幸福とし、それに至る手段として禁欲主義を、後者は「心の平穩（アタラクシア）」のために精神的快樂主義を主張した。また、ストア派はローマでも流行した。背景には、ポリスの崩壊とアレクサンドロス帝国の成立による世界市民主義と個人主義への傾きがあった。